

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋津孝久
幹事 野村紀代彦
会報委員長 横山宜幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2775回例会プログラム

[当年度 = 9回目; 当月 = 2週目]

2012年(平成24年) 9月10日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈副会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……………我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 副会長挨拶並びに副会長報告
8. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(9/17) ……休会(法定休日)
(9/24) ……クラブフォーラム
(クラブ会報・IT委員会)

卓話 「今どきのIT」

講師 クラブ会報・IT委員会

副委員長 丹羽 克誌 会員

2. クラブフォーラム……………〈新世代奉仕委員会〉

- 13:00 卓話 「東日本大震災被災地支援の報告」
講師 刈谷市立朝日小学校
校長 の やまともひさ 野々山知久 様
児童 9名
(紹介者 橋 典子 会員)
14. 謝辞
15. 点鐘……………〈副会長〉
16. 閉会宣言
13:30 17. 散会

出席

会員総数 92名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 84名
欠席 9名 出席率 89.29%
前々回(8/27)の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 8月27・28・29日に気仙沼階上小学校で、嶋津会長、伊藤節夫会員、下谷会員と震災支援の目録贈呈を行ってきました。お礼状が届いています。支援品の写真と児童からの感謝の手紙を回覧します。
- 2) 先日、9月3日ガバナー訪問のお礼状が届いています。
- 3) 安城ロータリークラブより地区大会(10/27・28)登録、再度お願いが参りました。登録人数が予定数より少なく、同じ分区内のクラブに協力をお願いしているという事でした。
- 4) 上期分の会費納入ありがとうございました。メールボックスに会員証を入れておきました。

副会長あいさつ

水越 彌生



先日8月30日内閣府の中央防災会議が南海トラフ大地震の被害想定を公表しました。同日の新聞に名古屋大学地震学の鷺谷威(さぎやたけし)教授は、耐震化や食料確保などできることをして「正しく恐れる必要がある。」このことが被害を少なくすることであります。とコメントしております。

さて私は先日建築家、安藤忠雄氏の講演会を聴く機会がありました。1992年阪神淡路大震災後安藤氏は希望の持てる街を復活させるために、被災地に白い花の「もくれん・こぶしの苗木」を30万本植えました。

そして今回の想像を絶する被害をもたらした東日本大震災についてもなんとしても復活させなければならないといっております。

これまでに日本人は歴史上2度の奇跡をおこしました。

1回目の奇跡は明治維新のとき、幕藩体制から近代国家を一気につくったこと。この素地は300を超える諸藩の教育体制が、藩ごとに特色を持ち学ぶ人の「目的と個性を考えた教育」がおこなわれたことです。これによって輩出した人材が新しい時代の扉をこじ開けました。

2回目の奇跡は太平洋戦争の敗戦後、数十年の間に復興し、世界の経済国まで発展しました。

本来日本人の国民性には素晴らしいものがあります。

技術力やスケジュール・品質・安全衛生の管理能力は世界のトップレベルであり、繊細で緻密・探究心が強く勤勉であることです。

今日本を取り巻く状況は厳しいものがあります。安藤氏はもう1度日本再生のために、第3の奇跡をおこすべき大事なことは、未来を担う子供たちの教育が大切とっております。

自分の意思が希薄で人とぶつかり合おうとしない芯の弱い若者や子供たちをみていると日本の将来に強い危惧の念を覚えるというしております。まず真の人格を育てる教育こそが大切とっております。

バナー交換 瀬戸北ロータリークラブ



還暦のお祝い



小澤 陽一 会員

(鈴木 豊 会員)

お 祝 い

9月の会員の誕生日…鈴木孝平、黒田義之、市川裕士、平野和一、羽田育哉、石原鈞、中村美智雄、神谷龍司、前田孝司、宮廻和正、小澤陽一、鈴木豊、出口達也、豊田貴久、山本伸治、吉岡秀記会員。

配偶者の誕生日…石原章代(鈞)、黒田悠子(義之)、廣根典子(実)、深谷慶子(稔彦)、今村典子(順)、横山知子(宜幸)、兵藤千香(文男)、天野武彦(櫻子)、山本直美(伸治)、鬼頭かおり(一浩)様。

結婚記念日…加藤繁則、伊藤節夫、小澤陽一、黒田義之、山下雅則会員。

9月度入会記念日…鈴木孝平、杉浦芳一、加藤哲也、深谷稔彦、野村紀代彦、権田銀弘会員。

卓 話

仙台市立鶴谷東小学校及び仙台市内訪問報告会

刈谷市立朝日小学校長 野々山知久 様



本校が仙台市立鶴谷東小学校及び仙台市内訪問を行うにあたり、温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。また、例会で報告をさせていただけたことに心より感謝申し上げます。

さて、私たち児童9名と職員4名は、8月23日(木)・24日(金)に仙台市を訪れました。23日は鶴谷東小学校との交流会及び校内見学を行い、24日は津波で大きな被害を受けた若林区や閑上地区を訪問しました。大震災の被害の様子や被災された方の生の声を見聞することができたことで、防災・減災に対する意識や苦難を乗り越え力強く生きる意欲、ものを大切に扱う気持ちなどを高めることができました。

ここでは、子どもの感想を載せさせていただきます。

この2日間の仙台訪問で感じ、みんなに伝えたいことは、まず、苦しいことと向き合いながらも明るく元気に過ごしている東北の人たちがいるということ。そして、いつ起こるかわからない地震に備え、準備をしておくことが大切だということ。防災グッズを用意したり、通学路の安全な場所を確認したりすることをしてください。それが、「同じ苦しみを味わわないでほしい」という東北の人たちの思いにこたえることができるからです。今、自分たちにできることは何かをよく考えてみたいと思います。

今回の貴重な体験を、防災に備えることや学校と家庭・地域との連携、鶴谷東小学校との交流を深めることに生かしていきたいと思っております。



柘植 悠佑くん (つげ ゆうすけ)
堤 麻衣さん (つつみ まい)
角岡 桃名さん (つのおか ももな)
徳永 優太くん (とくなが ゆうた)
田中 杏さん (たなか きょう)
小出 英典くん (こいで ひでのり)
高橋 亜友さん (たかはし あゆ)
加藤 大樹くん (かとう だいき)
加藤帆乃佳さん (かとう ほのか)